

2023 年日本女子大学学術交流研究事業  
主催：日本女子大学国際文化学部

# 「日本画」制作ワークショップ

## 一画材に触れ、日本画の技法を体験しよう

日時：2023 年 12 月 23 日（土）  
13：30～16：00（開場 13：15）

会場：日本女子大学目白キャンパス  
百二十館地下1階 ラーニングcommonsかえで

参加費：無料

### 実演および講師

- 鷹野 佳世子 先生  
(帝京大学文学部史学科・美術史・文化遺産コース教員)
- 久下 有貴 先生  
(画家、東洋絵画模写・修復、東京藝術大学大学美術館  
非常勤講師)

### ◆申し込み方法

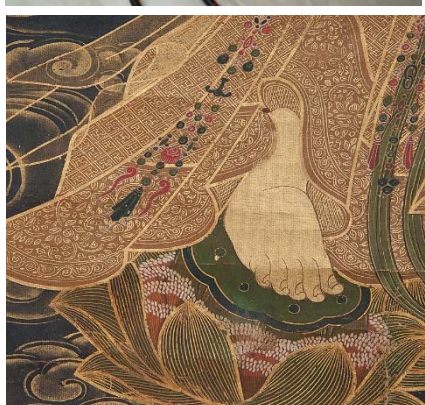
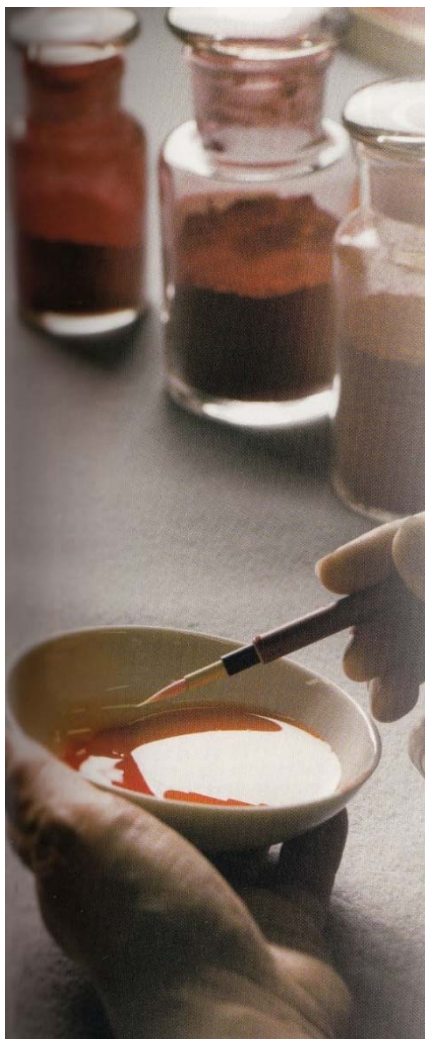
参加希望者は、申込みのフォームより直接お申し込みください。  
定員（先着順、30名）になり次第締め切ります。

申込みフォームは、右のQRコード、または  
下記URLからアクセスしてください。

<https://forms.gle/TE2Hx6s7HMqw7Sdx6>



ワークショップに関するお問い合わせは国際文化学部国際文化学科  
水野僚子 ([mizunor@fc.jwu.ac.jp](mailto:mizunor@fc.jwu.ac.jp)) まで。



日本・東洋の美術に使用された材料や技法をみなさんは知っていますか？

本ワークショップでは、お二人の講師をお迎えし、最初に日本・東洋絵画の技法や材料に関する講義をうかがった後、実際に紙や絹、岩絵具や天然染料、金箔や金泥といった材料を用いて、東アジアに伝わる伝統的な絵画技法を体験します。

一方、仏画や仏像に用いられる伝統的な金銀の装飾技法「截金（きりかね）」の実演もしていただきます。「截金（きりかね）」とは、仏の体を覆う金のレースやベールの表現、仏から発する光そのものを表す際に施される装飾技法であり、繊細で美しい光を表現するものです。「截金（きりかね）」の技法は、金銀箔を髪の毛ほどに細く切り、素材に貼り付けながら様々な文様を描き出す、非常に繊細で高度な技術を要するため、滅多に目にすることができませんが、本ワークショップでは、みなさんの目の前で実演していただきます。

現在ではなかなか目にすることのない素材や技法にふれ、また体験することを通して、日本・東洋美術がもつ独自の美しさを感じ、日本・東洋の美術への理解を深めていただきたいと思います。

なお、ワークショップでは、貴重な天然の岩絵具の具や高純度の金泥や金箔を使用するため、人数制限をさせていただきます。先着順ですので、希望者は受付期間に早めに申し込みをしてください。

参加費は無料です。みなさんの来場をお待ちしております！

当日は、絵画に用いられる様々な種類の筆、顔料のもととなる鉱石、貝、珊瑚、虫、また絹本絵画の制作過程がわかる見本、日本画の色見本など、珍しいものも各種ご用意してお待ちしています。



くじゃくいし  
孔雀石(マラカイト)



ろくしょう  
緑青



らんどうこう  
藍銅鉱(アズライト)



ぐんじょう  
群青



金茶石(虎石)



きんちゃ  
金茶



辰砂鉱



しんしゃ  
辰砂